■実績報告書 様 式 C-56-8〔作成上の注意〕 (電子申請システム対応用)

代表者が、補助事業完了後に科研費電子申請システム(以下「電子申請システム」という。)にアクセスして、 「実績報告書(様式C-56-8)」を作成し、補助事業完了後61日以内に送信・提出すること。

電子申請システムにおける入力に当たっては、文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、 JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

提出に当たっては、「収支簿(様式B-51-9)」及び補助金専用口座の預金通帳の写し(表紙、明細の全ペ ージ)とともに提出・送信すること。

実績報告書に含まれる個人情報は、科学研究費助成事業の交付等業務のために利用(データの電算処理及び管理 を外部の民間業者に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。)する。

【注意事項】

・電子申請システムの入力に当たっては、「電子申請システム研究者向け操作手引(科学研究費補助金) (研究成果公開促進費)」https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/seika/index.htmlを参照すること。

【研究成果公開促進費メニューイメージ】

<課題状況一覧>課題状況の確認ボタンを押下し、作成を行う。



×ログアウト

国際情報発信強化(【画面イメージ】) 課題管理画面

JSPS 科研費電子申請システム ヘルプ ログアウト 夏励研究・成果公開促進費メニュー>課題管理 課題管理(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費) 基本情報 研究代表者名 所属研究機関又 部局名・職名又 は職業 管理区分 区分 課題番号 研究種目 課題状況 研究期間 は
動務先 漢字 フリガナ 2021年度研究成 21HP1234 果公開促進費(国 際情報発信強化) 交付コウフ 一般財団法人 個人管理 補助金 会長 研究中 2021年度~2021年度 太郎 タロウ 0000学会 和文 研究課題名 英文 必ず提出する書類 交付請求書 [A-54-1、A-54-2] 実績報告書 [C-56-8] 交付申請書 [A-52、A-52別紙] 学振受理(1版) 未作成 (0版) 学振受理 (1版) + 入力 交付申請書 2021年度 A-52別紙 🔫 감 提出期間:2021年7月1日~2022年5 月31日 摄込口座届 🔁 🖧 必要に応じ提出する書類 ◆作成する その他の様式 ■「必要に応じ提出する書類」について、作成してから日本学術振興会に提出されないまま一定期間が経過すると、自動的に削除されることがあ ります。 通知文 文書番号 通知日 通知名 学振事第20号 2021年6月17日 合和3(2021)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)の交付決定について(通知) 変更履歴等 学振会理日 書類確認 作成日 変更事由 版年度 処理状況 変更内容 <注意事項> 作成の途中で「一時保存」した後、作成を再開する申請者、部局担当者(機関担当者)に提出した後、「却下(申請書類に不備があるため受付けられない場合)」された申請者、一度作成した申請書を「削除」した申請者は一覧より作成してください。 各種手続きの処理状況の意味は以下を参照してください。 ●(A-52, A-52別紙)交付申請書、(A-54-1、A-54-2)交付請求書 実績報告書 各種手続きは確認を完了して所属研究機関へ提出しないと受付されません。 PDFファイルの内容を確認するには、Adobe Readerが必要です。まだインストールしていない方は下のボタンをクリックしてインストールしてく ださい。 . メニューに戻る ログアウト

(1)課題管理画面基本情報

交付申請時の情報が自動表示されるので、団体名が変更となった場合や、代表者が変更となった場合は https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/yoshiki_dl_r03.html#kokusai 上記URLより「代表者交替等届(様式C-58-3)」をダウンロードし、必要事項を記入の上、電子申請システムの課題管理画 面「必要に応じ提出する書類」よりアップロードを行うこと。受領後日本学術振興会において、変更の手続きを行うので、最新の 情報に反映されていることを確認した上で、電子申請システム上で実績報告書の作成を行うこと。

(2)実績報告書の入力ボタンを押下

実績報告情報の入力(国際情報発信強化)

いた。 日研費電子申請システム	
<u>管理</u> >実績報告作成(実績報告情報の入力)>処理中>実镁報告書確認)
実績報告情報の入す ^{注意事項>}	1(国際情報発信強化)
表示されている主催団体情報、代表者: *のついた項目は必須の入力項目です。 認いがなければ一時保存をして次へ進 入力中に、一定時間、ボタン操作をせず て情報を保存して下さい。もし、セッショ 複数ウィンドウ(複数タブ)を開いて利用 2002/在 庶利二〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	8、取組の名称等に誤りがないかを確認してください。 ・ しばなくと セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックし しなくと セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時[一時保存]ボタンをクリックし ノタイムアウトのエラーメッセージが出た場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。 すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。 空費111111111111111111111111111111111111
主催団体	
所在地	〒123-4567 (分配)東京都〇〇区〇〇2-5-1
全称	
代表者職名	
代表者氏名	(漢字)交付 太郎
課題番号	22H12345
研究成果公開促進費目名	国際情報発信強化(A)
種別	I
取組の名称	
学術刊行物の名称	000000000000000000000000000000000000000
交付決定額	再計算 3,800,000円
	合計 物品費 旅費 人件費・謝金 その他
使用内訳	3,800,000 * 1000000 * 800000 * 800000
交付申請書に記載の使用	内訳 3,800,000 1,000,000 1,200,000 800,000 800,000
取組の実施概要	 最大1200文字(2400/\イト)、改行(15回まで入力可。ただし、一時保存の際は2000文字 (4000/\イト)まで入力できます。 (全角文字は2\1/L 半角文字は1/\1/Lと換算) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
別紙ファイル登録	
収支簿(様式B-51-9)及び関 書類	添付ファイル項目 ファイル登録/登録済みファイルダウンロード 参照
別紙ファイルについて、当該年度の様式 別紙ファイルを修正する場合は、修正済 別紙ファイルについてはPDF、zhワアイル 別紙ファイル様式の余白設定を変更す。	であるかどうか必ず確認してください。 みの別紙ファイルを選択しなおしてください。 を選択することができます。 ると、エラーとなる場合がありますので、余白設定は変更しないでください。
◆ 一時保存をし	て次へ進む

(3)主催団体情報

・交付申請時の情報が自動表示されるので、所在地に変更があった場合は、 https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/yoshiki_dl_r03.html#kokusai 上記URLより「連絡先等登録票(新規・変更)(様式Cー59ー2)」をダウンロードし、必要事項を記入の上、電子申請システム の課題管理画面「必要に応じ提出する書類」よりアップロードを行うこと。受領後日本学術振興会において、変更の手続きを 行うので、最新の情報に反映されていることを確認した上で、電子申請システム上で実績報告書の作成を行うこと。

(4)取組の名称・学術刊行物の名称

交付申請時の情報が自動表示される。

(5)実支出額の使用内訳

 https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/yoshiki_dl_r03.html#kokusai
 上記URLよりダウンロードした、「収支簿(様式B-51-9)」により算出された、各支出費目(物品費、旅費、人件費・謝金、 その他)の小計を入力し、再計算を押下する。
 実支出額の合計額が、交付決定額以下となるように入力すること。

(6)取組の実施概要

・補助事業年度に実施した取組の内容を詳しく記載すること。文字数、改行は表示のとおり。

(7)別紙ファイル登録

・収支簿(様式B-51-9)、通帳の写し(表紙、明細の全ページ)をPDFファイルまたはZIPファイルの1つのファイルにし、登録を行う。経費の内訳や詳細を別紙に記載した場合は、別紙もあわせてPDFファイルまたはZIPファイルの1つのファイルとすること。

(8)一時保存をして次へ進む

実績報告書確認画面(国際情報発信強化)



(9)実績報告書確認、関係資料の確認

・実績報告書がPDFで作成されるので確認を行うこと。関係資料はアップロードした収支簿(様式B-51-9)、通帳の写し、 がZIPファイルとして生成されるので、確認を行うこと。 入力内容の確認後、確認完了・送信ボタンを押下し、日本学術振興会に送信する。